

優秀賞 | 個人 | 永浦 久

長きにわたる河川の草刈りと地域の清掃活動

約 19 年の長きにわたり、定期的に河川の草刈り、空き缶拾い、道路・バス停周辺の清掃活動を行い、地域の方が気持ちよく住める美しい地域になるように美化活動に努めている。

また、放置自転車撤去などの活動も行っており、放置自転車を発見した際に張り紙を貼付し、引き取りがない自転車については、区役所へ連絡をし、引き渡しを行うなど、地域の環境保全に貢献している。



優秀賞 | 個人 | 中村 明

率先して地域の清掃活動と啓発活動を実施

「自分たちの地域は自分たちできれいにする」という信念のもと、自ら率先して 20 年以上も活動に取り組んでおり、通学路や地下鉄駅付近の道路など、早朝 5 時半頃より 1 時間半かけて、清掃活動を継続している。

また、清掃活動だけではなく、小学校での学習会やポスター・看板の掲示など、ポイ捨てをなくすための啓発活動にも熱心に取り組んでいる。

その他にも、校区でいち早くリサイクルボックスの設置・管理を行い、多くの住民に活用されている。



優秀賞 | 個人 | 藤尾 治好

奈多海岸の白砂青松の維持保全及び再生のために尽力

奈多海岸の白砂青松の維持保全と再生のため、奈多植林会の設立に大きく寄与した。設立当初は 7 名だった奈多植林会も、現在では 150 名以上が会員となるほど活動が広がっている。松林植樹活動や下草刈の指導に加え、松林や神社での清掃活動もほぼ毎日行っている。

また、奈多校区の住民や子どもたちに、松林の大切さを教授している。校区の子どもの中には、大人になって奈多植林会の会員になった住民もいるなど、世代を超えて活動が繋がっている。



優秀賞 | 団体 | エコファイブ

紙のリユースに着目した、3Rの普及啓発活動

西区地域環境サポーター養成講座の 5 期生で結成された団体で、紙のリユースに着目し、普及啓発等の活動を実施している。公民館等で新聞エコバックやブローチの制作講座を開催しており、リユースの気づきの種を植えることができています。

また新聞エコバッグを店舗へ提供したり、イベントに出展して啓発を行ったりするなど、楽しく 3R を学べる活動を実施しており、住民の意識向上にもつながっている。



新聞のエコバック講座

イベントへの出展

優秀賞 | 団体 | 日本ボーイスカウト福岡県連盟福岡中地区福岡第15団

清掃活動や自然との触れ合いを通して、子どもたちの学びの場を提供

「自分のことだけでなく、人の役に立つことの大切さについて、実際に行きつて学ぶ活動を実施する」というスカウト教育のもと、16 年の長きにわたり清掃活動を継続している。

毎年 9 月の全国統一「スカウトの日」には、小学校 2 年生から中学校 3 年生までのスカウトたちが中心となって、金武川と周辺の清掃を実施している。

また、その事前準備として、年 2 回、高校生以上のスカウト達による金武川両岸の草刈と、中学生以下のスカウト達による草の掃き掃除も行っている。その他、メダカの観察などの体験を通じた「自然環境の大切さ」に対する学びの機会も設けている。



優秀賞 | 団体 | 博多駅中央街・博多駅東1丁目2区・博多駅東2丁目1区町内会

地域と協力し、長年にわたって幅広い活動を展開

福岡市の表玄関として、博多駅周辺の美化を意識したことから活動を開始。警察や区役所の協力のもと、路上違反広告物の除去活動や路上駐輪の整頓活動、側溝の詰まり点検などの活動をしてきた。さらに長年継続している取り組みとして、週 2 回、博多駅周辺の道路や歩道のごみ拾いと道路沿いの花植えを行っている。花の水やりは福岡翔学館や東光中学校の生徒も協力しており、また、活動に賛同して取り組みを始める団体も現れ、平成 18 年からはそうした団体とともに駅東街づくり連合会を結成するなど、活動が周辺校区にも広がっており、地域の環境美化に大変貢献している。



優秀賞 | 団体 | 東吉塚7丁目1区自治会

花植えで不法投棄が解消され、地域から愛される公園に

町内にある公園では不法投棄が年々エスカレートしていたことから、対策として公園に花植えを実施したところ、不法投棄がなくなった。きれいな公園を維持するため、毎年 6 月と 12 月に全体の植え替えと大掃除を地域住民が協力して取り組んでいる。高齢者から子どもまで参加することで、世代を超えたコミュニケーションの場ともなっている。

こうした活動により公園がきれいになったことで、散歩などで利用する人も増え、地域の住民からも喜ばれている。



優秀賞 | 団体 | b-cycle

若者が中心となり、博多駅周辺の違法駐輪啓発活動を実施

若者が中心となり、博多駅周辺の違法駐輪啓発活動、ごみ拾い、挨拶活動を実施している。

週 2 回、違法駐輪を認識してもらうためのステッカーや、駐輪場のマップを記載した自作のポストカードをかごに入れるなど、工夫した啓発活動を行っている。こうした活動により、団体設立時は 1 日約 1,000 台だった違法駐輪台数が、現在では 1 日約 300 台に減少している。

また清掃活動においては、事前に告知をすることで、学生や社会人、地域住民など多くの人が参加しており、周囲をまきこんだ活動となっている。

